

# 努力事項 その10 (小学校図画工作)

今回から、今回の改訂で新設された「共通事項」について考えていきます。

## 「共通事項」を考える (1) ～総説～

今回、新たに設けられた「共通事項」とは、どのようなものなのでしょうか？  
学習指導要領解説には、次のように書かれています。

表現及び鑑賞の各活動において、共通に必要な資質や能力を〔共通事項〕として示す。指導において、自分の感覚や活動を通して形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴をとらえ、これを基にイメージを持つことが十分に行われるようにする。

(小学校学習指導要領解説図画工作編 第1章総説 3図画工作科改定の要点 (2)内容の改善 ウ共通事項の新設)

つまり、「共通事項」とは

### 「表現及び鑑賞の活動で共通に必要な資質や能力」

であり、具体的には次の2つの能力となります。これらは相互に関連し合っています。

(ア) 児童が、見たり触ったり持ち上げたり動かしたりして、主体的・能動的に対象に関わり、造形的な特徴（形や色、線や面、動きや奥行き）をとらえる能力



(イ) 造形的な特徴を基に、心の中に、像や全体的な感じ、情景、姿を思い浮かべるなどして、自分のイメージを持つ能力

※ 相互に関連とは、(ア) から引き続いて (イ) が発揮されたり、(イ) を基に形や色をとらえたりするということです。

さらに、小学校学習指導要領解説図画工作編のP.19～20に、次のように詳しく書かれています。(要約)

- 共通事項は、表現及び鑑賞の活動の中で、共通に働いている資質や能力であり、造形活動や鑑賞活動を豊かにするための指導事項
- 形や色からくるイメージなどは、表現及び鑑賞の活動で発想や構想、創造的な技能、鑑賞などの能力を働かせる際の具体的な手がかり
- 「共通事項」が表現や鑑賞の領域の活動などの全体にかかわる事項
- 共通事項で示している内容は、対象に対して感性を働かせる児童の具体的な姿であるとともに、形や色、イメージなどを言葉のように使いながら生活や社会と豊かに関わるコミュニケーション能力の基盤となるもの

### 発達段階ごとの共通事項

学 年	(ア)	(イ)
第1学年及び第2学年	自分の感覚や活動を通して、形や色などをとらえること。	形や色などを基に、自分のイメージを持つこと。
第3学年及び第4学年	自分の感覚や活動を通して、形や色、組合せなどの感じをとらえること。	形や色などの感じを基に、自分のイメージを持つこと。
第5学年及び第6学年	自分の感覚や活動を通して、形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴をとらえること。	形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージを持つこと。

## 指導に当たって

- 「共通事項」が表現や鑑賞の領域の活動などの全体にかかわる事項であることを踏まえて、これまで行われてきた指導内容や方法を「共通事項」の視点で改善しましょう。具体的には、どの題材でも必ず「形や色から自分のイメージをもつ」という内容が組み込まれることが考えられます。
- 一方、「共通事項」は、「共通事項」のみを題材としたり、どの時間でも「共通事項」を教えるから授業を始めたりするなどの硬直的な指導を意図したものではないと書かれています。これはつまり、造形遊びをしたり、絵で表したり、作品を鑑賞したりするという活動を通さずに造形要素のみを教えるのではありません、ということの意味しています。この点に十分注意しましょう。



今回は、第1学年及び第2学年の「共通事項」について、具体的に考えていきたいと思えます。

10月11日（金）頃アップの予定です。